



今週はいよいよ求人票が学校へ届きます。みなさんは求人票のどこを最初に見ますか？

鳥取で暮らすか 都会で暮らすか

人は資料や冊子を見ると、一番気になるところを最初に見ようとするものです。ということは、あなたが求人票で最初に見る項目はあなたが一番重要視している項目ではないでしょうか。定番としては「給料がいくらなのか?」「休みがどれくらいあるのか?」このあたりから見ていく人が多いことでしょう。

求人票を見ると一般的に都会で働けば鳥取に比べて給料はいいですね。そうであるにもかかわらず、都会から鳥取へ移住してくる方々がいらっしゃるのなぜでしょう?給料は下がるけど、それ以上に得られる何かがあるからこそ、都会から地方への移住を選択されるのです。

また、ネットワークを活用した働き方がコロナ禍で急速に普及したことも地方での暮らしを選択しやすくしてくれていると思います。都会ではオフィスを閉鎖あるいは縮小し、仮想空間上にオフィスをつくり、社員は在宅勤務という企業もあります。また、ネットワークを活用して都会の仕事を受注している地方の企業もあります。

そんな田舎の人気度を集計しているのが月刊誌「田舎暮らしの本」(宝島社)です。同誌が発表している2021年版の「住みたい田舎」ベストランキングでは人口10万人以上の87自治体を対象にした「大きな市」グループ若者世代部門で鳥取市が第3位、総合部門で米子市が第19位に選ばれています。

鳥取県 交流人口拡大本部 ふるさと人口政策課のホームページでは「データ・ランキングで見るととり暮らし」(<https://www.pref.tottori.lg.jp/245606.htm>)と題して鳥取暮らしの良いところを数値で具体的に紹介しています。また、「ファイナンシャルプランナーが人生収支をシミュレーション 鳥取県で暮らしたら?」へのリンクがあり、ここでは鳥取で暮らした場合と東京で暮らした場合の貯蓄の変化をシミュレーションしています。結果はなんと・・・!?是非、サイトで結果をご確認ください。

田舎暮らしの私たちから見ると、都会の方が遊ぶところはあるし、情報も豊富、電車は時間を調べなくても次から次へと来る、とっても便利で絶対いいよね、と思ってしまいます。田舎暮らしの私たちは都会を羨ましく思い、都会暮らしの人は田舎を羨ましく思うなんて、矛盾した話ですね。昔から言われるように、隣の芝は青いのです。我が家の芝を隣家の人の視点で見直してみると、我が家の芝の素晴らしさに気づけることでしょう。あなたが就職する上で一番重要視するのは何か、もう一度考えてみてください。

あなたは鳥取で暮らしますか?それとも都会で暮らしますか?



私の住む家に毎年のようにツバメが巣をかけ、毎年のようにカラスに襲われていたが、今年は、つい先日5羽の雛が無事巣立っていった。今は親ツバメとともに飛行と餌取り訓練の最中であろう。

いよいよ求人

雛を見て心配になるのは、高いところにある巣から初めて飛び立つとき、うまく羽ばたけずに地面に叩きつけられてしまうのではないかということ。巣の真下を見るが、そのような跡は無く、あらためて生物の本能はすごいと感心する。



7月1日より求人票の受付が始まり、進路決定の活動が本格的になる。コロナ禍の影響で、今年の求人が無い企業も有るようで、例年になく厳しい状況が予測される。こればかりは生徒の責任ではなく運としか言いようがないが、どのような状況にあっても、自分にとってベストと思える選択をしてほしい。「敵を知り己を知れば百戦あやうからず」で言い尽くされているように、意志決定のプロセスで重要とされるのは情報収集である。求人票の情報が全てだと思わないでほしい。幸いにも、進路指導室には「卒業生の声」をはじめとした情報の蓄積があり、「キャリア塾」も開かれる。インターネットでも調べることができるし、身近な先輩（保護者、教員、卒業生、近所の大人等）に訊くというのも有効である。また、応募前見学を利用し、データには表せない何かを感じ取ってほしい。不安なのは必要な情報が得られていないからである。

何事にも、最も良いタイミングというものがある。雛がこの時期に巣立ちを迎えるのは餌となる虫が豊富だからであろう。就職試験が9月16日から開始され、応募前見学が7月下旬～8月上旬であることを考えると、8月中旬が選択要素の最も豊富な時期になる。ちょうどこの頃「受験希望先」用紙の提出になる。情報収集を早く始め、意志決定が遅れることのないようにしてほしい。

また、進学希望者も同じタイミングで提出することになるが、就職と同じタイミングで意志決定するのは意味がある。もし、8月下旬に進学を希望していて、10月頃の入学試験の直前になって就職希望に変更した場合、求人がほとんど残っていないという事態が起こる。進学するためには多くの費用がかかる。今日にでもしっかりと保護者と話し合ってほしい。また、入学試験の対策はターゲットの学校を絞り、それに合わせた勉強を少しでも早くから始める必要がある。夏休みがまとめて勉強できる最後の期間になるので、意志決定は早いほうが良いのは言うまでも無い。

3年生は、人生最大と言っていい決断をしなければならない。試験では、なぜその決断をしたのかを必ず訊かれる。そのときに理路整然と答えられる人は、決断のまえに最大限悩んだ人である。人は選択肢が多いほど決断に時間がかかるという。悩むということはそれだけ情報を集めることができたということである。最大限悩んで、自信がもてる決断を他ならぬ自分でしてほしい。飛べると信じて自ら巣を飛び立つ雛のように、その決断の責任をとるのは自分しかいないし、恩恵を受けるのも自分だからである。

3学年主任 坂根大司



米工 MAKERS

米工通信 第28号

令和3年7月2日

鳥取県立米子工業高等学校

担当者名：坂田祐将



新型コロナウイルス感染抑制のため緊急事態宣言や、数多くのイベントの中止、規模の縮小などがあり、不安やストレスを抱える毎日を過ごされていることと思います。ワクチン接種がようやく始まり、希望の光が差し始めてくる中、ワクチン接種等に奮闘されている医療従事者やコロナ対策に奮闘されている人への感謝の気持ちや、コロナ過で傷ついた心を癒し勇気と元気を届ける取り組みを行っています。その様子を紹介します。

米工はるかのひまわり絆プロジェクト



米工では、「米工はるかのひまわり絆プロジェクト」として、命の大切さや人と人との絆の大切さを考え、防災に対する意識の向上を目指しこの取り組みを行っています。今年は、生徒や PTA の方の有志約 150 名でプランターや中庭に約 500 粒の種を植えました。また、3 年生の理科課題研究として、種の選別や発芽条件などを変えた場合、どのような発芽状況になるのか観察をしています。



クラスのプランターに丁寧に植えます



テラスにも植えています



マルチシートに穴をあけて種を植える様子

～課題研究生徒のコメント～

種を植える前の水につける時間を変えるとどうなるか、通常では選別の際に除外されるような種をまいて発芽するか観察しています。その他には、米工だけでなく、昨年度他の場所で育ったひまわりの種と比べるとどうなるかを観察しています。今はまだ芽が出だしたところでこの後どのように成長するか観察していくところです。



通常では除外するような種も植えています



求人票が届きましたね。関心のある企業をリストアップできましたか？1年生、2年生の皆さんも求人票を見ることで、どのような企業からの求人があるのか、どのような職種の求人があるのかを知ることができ、将来のことを考える良い機会になると思います。

ご縁を活かそう！



どこで、どのような仕事に携わり、どのような生活をするのか、みなさんにはそれぞれ理想があることと思います。しかし、現実を見ると理想どおりには行かないものです。「鳥取で暮らしながら新幹線を運転したい」と、考えても鳥取には新幹線がありません。

実際には、自分の理想の中でも優先順位をつけて応募先を決めていくことになります。この選択の際に、どうしても譲れない「価値観」や「欲求」「能力」のことをキャリアアンカー(carrier anchor)といいます。アンカーは船の錨（イカリ）という意味です。船は錨を下ろして潮の流れに流されないようにします。人生においても様々な決断の際に自分を引っ張るもの、つまり「こだわり」を自分の錨と考え、キャリアアンカーと呼んでいます。

何が自分の錨なのかを考えることは大切なことです。あとあと進路変更する人の多くに自分の錨をしっかりと確認していなかった人、自分の錨を無視していた人が見られます。ところが、自分の錨を無視しながらも決断した選択を継続し、さらに発展させている人もいます。何が違うのでしょうか？

それは自分の錨を新しい錨に交換できた人です。自分の中での価値観が変わると、こだわるポイントも変わります。新しい環境で新しい価値に気づくことが大切です。日常生活の中でも周囲の人が何にこだわっているのかを観察してみてください。いろいろな錨が見えてくることでしょう。

応募先を確定するまでそれほどの時間は残っていません。この機会に周りの大人に尋ねてみてください。「学校を卒業してすぐに自分の理想の就職が実現できましたか？」と。多くの方がある程度妥協しながらも、そのとき巡り会ったご縁を選択して就職あるいは起業されているのではないのでしょうか。そして、そのご縁を肯定的にとらえて取り組む中で、その仕事の価値や面白さを知り、その仕事の意義を新しい自分の錨にされていると思います。

応募したい企業の候補を絞れたら、いよいよ応募前職場見学です。見学先では従業員の方、その会社のプライドやその仕事の意義や魅力などを伺ってみると、あなたに新しい錨ができるかもしれません。

あなたへ届くご縁とはなんでしょうか？





3年生は進路決定の時期になりました。



3年進路保護者説明会

6月22日に米工第一体育館で保護者説明会を行いました。
欠席された保護者の方には、生徒を通して資料を配付しています。
確認して下さい。



3年生進路LHR

6月25日、3年生のLHRを行い、求人票の見方・応募前職場
見学・大学の推薦入試などの説明を行いました。

7月1日より高校での求人票の受理が開始になりました。7月7日現在感じることをお伝えします。
今年の求人は、コロナウイルス感染症の影響で減るのではないかと心配する声も聞こえていましたが、本校に対する求人数は内容に多少の違いは見られるものの、昨年とほぼ同数であり、順調なスタートとなっています。

地元求人（約80社）は、昨年より製造業が若干少なく感じますが、リーマンショック時代ほどではありません。

地元外（約230社）は、建設・電気通信が多く、昨年より勢いを感じます。2025年の大阪万博や、コロナの影響でリモート・ゲームなどが増えた影響もあるかもしれません。

コロナウイルス感染予防のため**求人票・指定校一覧を、生徒のスマホから見るができます。**

ご家庭で進路について話し合ってください。

(コピー禁止。保護者・生徒以外には見せないで下さい。)